

令和4年度 松浦市地域包括支援センター自己評価表

1. 組織・運営体制等

(1) 組織・運営体制

	評価指標	自己評価	根拠
①	市が定める運営方針の内容に沿って、センターの事業計画を策定しているか。	はい・いいえ	市と一体となっているため、市として定めた運営方針に沿って事業計画を策定している。
②	事業計画の策定にあたって、市と協議し、市から受けた指摘がある場合、これを反映しているか。	はい・いいえ	同上
③	市からの支援・指導の内容により、逐次センターの業務改善が図られているか。	はい・いいえ	市と一体となっているため、市の方針に沿った業務改善をしている。
④	市が設置する定期的な連絡会合に毎回出席しているか。	はい・いいえ	市と一体のため、市としても、地域包括支援センターとしても毎回出席している。
⑤	市から担当圏域の現状やニーズの把握に必要な情報の提供を受けているか。	はい・いいえ	市とセンターが一体のため、①高齢者人口、②高齢者世帯数、③各種住民アンケート調査結果、④要介護認定者数 ⑤集いの場の状況、⑥社会資源に関する情報等の情報を共有している。
⑥	把握した担当圏域の現状やニーズに基づき、センターの実情に応じた重点業務を明らかにしているか。	はい・いいえ	健康とくらしの調査等に基づき地域診断を行い、優先順位に応じた業務を明らかにし、計画に位置付けている。
⑦	センターにおいて、配置を義務付けられている三職種を配置しているか。	はい・いいえ	保健師、社会福祉士、主任ケアマネジャーの三職種を配置している。
⑧	センター職員の研修の機会が確保されているか	はい・いいえ	西九州させば広域都市圏医療介護連携推進事業、県北地域リハ広域支援センター、県主催等の研修会等に参加している。また、Webの利用により回数も増加している。
⑨	研修のフィードバック、情報・研修資料の回覧による情報共有など、センター職員の資質向上の取組を適切に行っているか。	はい・いいえ	月1回定例で包括業務連絡会を実施し、研修や会議についての情報共有を行っている。
⑩	夜間、早朝の窓口（連絡先）を設置し、窓口を住民にパンフレットやホームページ等で周知しているか。	はい・いいえ	市と一体となっているため、夜間、早朝の緊急連絡については、市役所守衛からの連絡網があり対応ができていいる。
⑪	平日以外の窓口（連絡先）を設置し、窓口を住民にパンフレットやホームページ等で周知しているか。	はい・いいえ	平日以外は、職員が連絡用の携帯電話を所持し、市役所にかかった場合に、連絡がつくようにして対応している。
⑫	パンフレットの配布などセンターの周知を行っているか。	はい・いいえ	年3回、地域包括支援センターだよりを全戸配布し周知を図っている。

(2) 個人情報の管理

	評価指標	自己評価	根拠
①	個人情報保護に関する市の取扱方針に従って、センターが個人情報保護マニュアル（個人情報保護方針）を整備しているか。	はい・いいえ	市の個人情報保護条例に基づいて取り扱っている。
②	個人情報が漏えいした場合の対応など、市から指示のあった個人情報保護のための対応を各職員へ周知しているか。	はい・いいえ	市の個人情報保護条例に基づいて取り扱っている。
③	関係機関との連携において、個人情報をやり取りする必要がある場合は、あらかじめ利用者に説明し同意を得ているか。	はい・いいえ	利用者には、あらかじめ説明をして同意を得ている。

(3) 利用者満足度の向上

	評価指標	自己評価	根拠
①	市の方針に沿って、苦情対応体制を整備し、苦情内容や苦情への対応策について記録しているか。	はい・いいえ	苦情内容を記載し、内容、対応について職員間で共有している。
②	センターが受けた介護サービスに関する相談について、市に対して報告や協議を行う仕組みが設けられているか。	はい・いいえ	介護サービス担当部門と同課に所属しているため、随時、相談、協議を行っている。
③	相談者のプライバシー確保に関する市の方針に従い、プライバシーが確保される環境を整備しているか。	はい・いいえ	相談カウンターの仕切り、相談ブースを活用している。

2. 個別業務

(1) 総合相談支援業務

	評価指標	自己評価	根拠
①	市町村レベルの関係団体（民生委員等）の会議に参加しているか	はい・いいえ	民協総会・研修会・地区民協や地区長会に参加し、各地域における現状や支え合いの必要性について説明した。
②	地域における関係機関・関係者のネットワークについて、構成員・連絡先・特性等に関する情報をマップまたはリストで管理しているか。	はい・いいえ	地域見守りネットワークの構成団体（民間協力団体、関係団体等）についてリスト化している。
③	相談事例の終結条件を定めているか。	はい・いいえ	権利擁護部会、認知症初期集中支援チームにおける検討事例についてのみ委員と協議し終結判断をしている。
④	相談事例を分類し、1年間の相談件数を把握しているか。	はい・いいえ	相談事例を分類し把握している。
⑤	相談事例の解決のために、市への支援を要請しその要請に対し市から支援があったか。	はい・いいえ	地域ケア会議には、市としても参加している。
⑥	家族介護者からの相談について、相談件数や相談内容を記録等に残して取りまとめているか。	はい・いいえ	相談件数、内容共に記録し取りまとめている。

(2) 権利擁護業務

	評価指標	自己評価	根拠
①	成年後見制度の市長申立てに関する判断基準を市と共有し、必要性がある場合は制度利用につなげているか。	はい・いいえ	市の社会福祉士と包括の担当者が兼務している。申立てについては関係者と社会福祉士で相談して対応している。
②	高齢者虐待事例及び高齢者虐待を疑われる事例への対応の流れについて市と共有し、情報共有、議論及び報告等を行う会議において、高齢者虐待事例への対応策を検討しているか。	はい・いいえ	地域ケア会議の権利擁護部会において、虐待事例の支援について弁護士等の専門家を交えて検討を行っている。令和4年度は新規1件・継続3件の進行管理を行った。
③	消費者被害に関し、センターが受けた相談内容について消費生活センターまたは警察等と連携の上、対応しているか。	はい・いいえ	地域見守りネットワーク協議会が消費者安全確保地域協議会を兼ねており、警察や消費者センターと互いに連絡を取りながら対応をしている。
④	消費者被害委に関する情報を民生委員・介護支援専門員・ホームヘルパー等へ情報提供する取組を行っているか。	はい・いいえ	関係機関が地域見守りネットワーク協議会と消費者安全確保地域協議会のメンバーであり、情報を共有している。

(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

	評価指標	自己評価	根拠
①	担当圏域における居宅介護支援事業所のデータを把握しているか。	はい・いいえ	居宅介護支援事業者等連絡協議会の事務局を担っているため把握している。
②	介護支援専門員を対象にした研修会・事例検討会等の開催計画を策定し、開催しているか。	はい・いいえ	居宅介護支援事業者等連絡協議会の事務局を担い、年4回開催した。
③	介護支援専門員に対するアンケート、意見収集等についての市からの情報提供や市による研修会の内容等を踏まえ、地域の介護支援専門員のニーズや課題に基づく事例検討会や個別事例を検討する地域ケア会議等を開催しているか。	はい・いいえ	保険者に対するケアマネジャーの要望、意見等のアンケートを毎年実施している。また、ケアマネジャーのニーズに基づき個別ケア会議についても必要時には随時実施している。
④	担当圏域の介護支援専門員のニーズに基づいて、多様な関係機関・関係者との意見交換の場を設けているか。	はい・いいえ	居宅介護支援事業者等連絡協議会の事務局として、会員である事業所や支援員の意見を集約し、毎年研修や意見交換会を実施している。
⑤	介護支援専門員が円滑に業務を行うことができるよう、地域住民に対して介護予防・自立支援に関する意義の共有を図るための出前講座等を開催しているか。	はい・いいえ	集いの場の代表者等を対象に、地域住民が自ら介護予防・自立支援ができるよう、専門職（理学療法士、作業療法士、栄養士）によるフレイル予防と集いの場におけるレクレーションの内容で介護予防リーダー養成講座を開催した。
⑥	介護支援専門員から受けた相談事例の内容を整理・分類した上で、経年的に件数を把握しているか。	はい・いいえ	相談内容を分類し件数を毎年地域包括支援センター運営協議会で報告している。

(4) 地域ケア会議

	評価指標	自己評価	根拠
①	地域ケア会議が発揮すべき機能、構成員、スケジュール等を盛り込んだ開催計画ならびに運営方針を策定し、センター職員・会議参加者・地域の関係機関に対して周知しているか。	はい・いいえ	市とセンターが一体となっており、市の方針として、地域ケア会議代表者会議において、機能や年間スケジュール等の開催計画を示している。
②	個別ケア会議に市が参加し、多職種と連携して自立支援・重度化防止等に資する観点から個別事例の検討を行い、対応策を講じているか。	はい・いいえ	毎月1回個別ケア会議を開催し、歯科医師、栄養士、薬剤師、リハ職等専門職を交えて自立支援・重度化防止に資する検討を実施している。
③	地域ケア会議において、地域課題に関して検討しているか。	はい・いいえ	個別ケア会議（自立支援型）、介護予防部会で地域課題に対する検討を実施した。
④	市から示された地域ケア会議における個人情報の取扱方針に基づき、センターが主催する地域ケア会議で対応しているか。	はい・いいえ	個人情報を取り扱う個別ケア会議では、レジュメに個人情報に関する注意事項を記載して、同意を得た上で会議を行っている。
⑤	センター主催の地域ケア会議において、議事録や検討事項をまとめ参加者間で共有しているか。	はい・いいえ	会議の報告書をまとめ共有している。
⑥	生活援助の訪問回数の多いケアプランの地域ケア会議での検証を行う体制があるか	はい・いいえ	事例の着目点としており、当該事例があれば検討する体制をとっているが、4年度には該当する事例はなかった。
⑦	地域ケア会議で検討した個別事例について、その後の変化等をモニタリングしているか。	はい・いいえ	個別ケア会議について検討会の最後にモニタリング時期を決定してモニタリングしている。
⑧	地域ケア会議の検討内容を取りまとめて、住民向けに公表しているか	はい・いいえ	ボランティア養成講座や、ケアマネジャーの研修会等で一部を公表している。
⑨	地域ケア会議を通して明らかとなった地域課題の解決に向けて、地域資源等を検討して解決のための政策等を立案しているか。	はい・いいえ	住まいと暮らし部会において、高齢者等わくわく・おでかけ支援事業（案）について説明。各委員ならびにオブザーバーより案に対する意見等を聴取した。その内容等を庁内の関係部署と協議し、次年度から「高齢者等外出支援事業」「集いの場参加促進事業」「介護予防応援ポイント事業」を実施することとなった。

(5) 介護予防ケアマネジメント・介護予防支援

	評価指標	自己評価	根拠
①	介護予防ケアマネジメント・介護予防支援を委託した場合は、台帳への記録及び進行管理を行っているか。	はい・いいえ	システムへの入力ならびに計画書・評価表等の確認を行うことで進行管理できている。
②	自立支援・重度化防止等に資するケアマネジメントに関し、市から示された基本方針をセンター職員及び委託先の居宅介護支援事業所に周知しているか。	はい・いいえ	市からの基本方針を居宅介護支援事業者等連絡協議会で文書で示し伝えている。
③	介護予防ケアマネジメント・介護予防支援のケアプランにおいて、保険給付や介護予防・生活支援サービス事業以外の多様な社会資源を位置付けたことがあるか。	はい・いいえ	居宅介護支援事業者等連絡協議会の研修会において、市内の社会資源等の情報を伝え、集いの場・すっきり元気教室・いきいきサロン等を位置づけることもある。
④	利用者のセルフマネジメントを推進するため、市から示された支援の手法（介護予防手帳など）を活用しているか。	はい・いいえ	地域ケア会議介護予防部会で介護予防手帳の案を協議修正し原案を作成し、集いの場数か所で試用していただいた。今年度最終校正し、来年度から本格的に活用する。。
⑤	介護予防ケアマネジメント・介護予防支援を委託する際の事業所選定の公平性・中立性確保のための指針が市から示されているか。	はい・いいえ	運営方針について、公正中立確保が示されている

3. 事業間連携（社会保障充実分事業）

	評価指標	自己評価	根拠
①	医療関係者と合同の事例検討会に参加しているか。	はい・いいえ	在宅医療・介護連絡協議会の研修会や在宅医療・介護連絡協議会において事例を共有し検討している。
②	医療関係者と合同の講演会・勉強会等に参加しているか。	はい・いいえ	西九州させぼ広域都市圏在宅医療介護連携推進事業や県北保健所主催の講演会・研修等に参加している。
③	在宅医療・介護連携推進事業における相談窓口に対し、相談を行っているか。	はい・いいえ	包括支援センターが在宅医療・介護連携の相談窓口を担っている。医療介護連携コーディネーターその他スタッフが相談支援を行った。
④	認知症初期集中支援チームと訪問支援対象者に関する情報共有を図っているか。	はい・いいえ	包括支援センタースタッフと認知症サポート医が認知症初期集中支援チームの構成員となり、訪問支援対象者についての情報を共有、検討し、連携を図りながら支援している。
⑤	生活支援コーディネーター・協議体と地域における高齢者のニーズや社会資源について協議をしているか。	はい・いいえ	生活支援コーディネーターと共に、松浦みらい会議に参加。高齢者のニーズ社会資源について協議した。